

# Press Release

## 【2023年度(2023.6~2024.5)排出量データ】



SCIENCE  
BASED  
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION



### 担当者より

当社は2023年9月にSBT (\*1) イニシアティブに温室効果ガス削減目標の認定を受けました。削減目標達成のため主な排出源である「LPGガスの使用」「工場内電力使用」の削減を重点的に取り組んでまいります。

2023年度は相対的にScope1(ガス使用量)が削減でき排出量が減少となりました。今期は山口工場のLEDへの取替を実施、引き続き効率的なガス利用に努め、グループ一丸となって温室効果ガス削減に努力して参ります。

今後も透明性のある情報開示をすることで、ステークホルダーのみなさまにご理解いただき、協働を通じて2030年の目標\_(2019年度を基準に46%削減)に向かい排出削減活動を行ってまいります。

**SBTの認定と温室効果ガスの削減を通じて、SDGs(※2)の以下の目標に貢献します**



\*1 産業革命前から地球の気温上昇を2℃未満に抑えるため企業に科学的根拠に基づいた温室効果ガスの排出削減目標を設定し、排出量削減を推進することを目的にCDP、国連グローバル・コンパクト、WRI(世界資源研究所)、WWF(世界自然保護基金)の4団体が2015年に共同で設立。

\*2 Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標は、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載されている2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すための国際目標。17のゴール・169のターゲットで構成されている。